

目次		2
巻頭言 “Bösendorfer” がもたらしてくれたもの	犬塚静子	3
講演記録 特別講演「ブラームスを語る」 (2006年4月9日開催 例会No. 125)	堤 剛	4
随想 ブラームスとマイニンゲン —ゲオルク二世、ヘレーネ夫人、ミュールフェルトとの友情—	関根裕子	27
随想 バーナード・ショウの音楽評論における ブラームスについて	川島由夫	34
随想 ドイツ・オーストリアの知られざる作曲家たち —ブラームスの影響を中心に—	矢口正巳	54
紀行 西遊記抄	鈴木充男	61
紀行 私のブラームス紀行	田中 久	69
随想 絵画「ウィーンに六段の調」(ブラームスと 戸田伯爵極子夫人)と対面	船木 元	73
レクチャーコンサート報告 「ブラームスとシューマン」	尾崎羽奈	77
活動記録(2005～2006年度)	重成 瞳	78
アルヒーフ便り	関根裕子	86
交響曲第1番 ハ短調 op. 68 ディスコグラフィ—	山田豊明	87
編集後記		97
入会案内	羽木光彦	98